



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

№12

令和2年9月18日

4年生社会見学

9月10日（木），4年生が社会見学に行ってきました。見学場所は、鈴鹿市伝統産業会館，南部浄化センター（四日市），四日市港ポートビルでした。新型コロナウイルス感染症予防のため，バスの中や見学先では会話を控えたり，バスの乗車前や施設見学の前後で手指の消毒を徹底したりしました。どの見学場所でも，児童はしっかりメモを取って話を聞くことができていました。

鈴鹿市伝統産業会館では，「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」について映像で学んだ後，伊勢型紙を彫る体験でしおり作りに取り組みました。その後，展示室で伊勢型紙と鈴鹿墨を作る道具や作品を見学しました。

南部浄化センターでは，屋外の施設で汚れた水が少しずつきれいになっていく様子を見学した後，映像で汚れた水が微生物の働きなどできれいになっていく仕組みを学びました。担当の方の説明の後，子どもたちは積極的に質問をしていました。

四日市港ポートビルでは，映像で四日市港がどのように発展してきたのか，四日市港ではどんなものが運び出され，どんなものが届くのか，どんな設備があるのかなどを学びました。その後，担当の方の説明を聞きながら，展望室の窓から実際の設備を見学しました。自動車が船に積み込まれる様子は見学できませんでしたが，ストラドルキャリアで運ばれたコンテナが次々にコンテナクレーンで船に積まれていく様子を見ることができました。

いつもとは違う形での社会見学になりましたが，子どもたちは楽しんでいる様子でした。

あいさつ運動

9月11日（金），登校指導に本校を卒業した天栄中学校の生徒3名と先生2名が来校し，民生委員の皆さんとっしょにあいさつ運動を実施しました。

天栄中校区の連携した教育活動として，毎年各学期に1回，中学生が出身小学校に出向き，あいさつ運動に参加してくれています。

新型コロナウイルス感染症予防のため，今年はハイタッチをすることはできませんが，子どもたちは「おはようございます」と元気な声であいさつを交わしていました。



第3回学校運営協議会

9月15日（火）、第3回学校運営協議会を開催しました。校長から、第2回学校運営協議会（7月21日）以降の学校の様子を報告した後、夏休みの課題として全校児童が取り組んだ「人権標語」の最優秀作品の選定を行いました。最優秀作品は今年度も、啓発用として看板にして校門前に掲示します。また、全校児童の作品一覧は、各地区の掲示板にも掲載させていただきます。最優秀作品と優秀作品は、次のとおりです。

最優秀	みとめあおう	それぞれの個性	大切に	(5年 服部 泰河)
優秀	ありがとう	ごめんなさいは	なかよしのもと	(1年 渡辺 羽椎)
	友だちと	いつもつながる	あい川小	(2年 森脇 陽太)
	気づいてね	そのひとことで	きずつくことを	(3年 渡辺 怜亜)
	なかまとは	よりそってくれる	たからもの	(4年 西村 彩花)
	あたたかい	あなたの一言	輪ができる	(6年 上寺眞太郎)

最後に、合川の子どもの学力向上、安心安全、快適な環境づくりの取組について熟議をしました。

◎委員の方からいただいた主な意見

①学習支援について

- ・田植えはどろんこになるが全員でするとよい。稲刈りは今年のように4、5年生でよい。
- ・赤丸ボランティアはコロナ影響で、いつまでたってもできないと予想される。学校に来てもらうのもボランティアさんにとっても心配である。しかし、赤丸がなくなっていくのもよくないし、子どもたちもかわいそうなので工夫をしていくべきだ。
- ・赤丸ボランティアの方にもご意見をいただければどうか。

②学校環境整備について

- ・これまでは小島さんにお世話になっていたが、来年度から除草した草の処理について考えていかなければならない。軽トラックだけで清掃センターに運搬するのは時間がかかる。
- ・保育所は、小島さんにトラックだけ借りてPTAが運転している。

③児童の安心安全確保について

- ・パトロール隊長の交代の年になるが、新しい人を探すのは難しい。
- ・2学期になってから、大雨や雷の影響で朝の登校を迷う時があった。PTA地区委員が中心となって、地区の状況を把握し学校へ連絡する等を、PTA地区委員会で共有する。

◎鈴鹿型コミュニティ推進コーディネーターより

- ・コロナ対策として地域や学校行事が中止・縮小となっている中、子どもたちが楽しみにしている行事を工夫して行おうとしている姿勢がよい。「できない」ばかりでは、子どもが育たないので工夫をして取り組んでほしい。
- ・赤丸ボランティアに関してはコロナ禍で自粛の中、委員長の「このままでは全てがしぼんでしまう」という危機感が心強い。何とか工夫をして収束を迎えるまで行ってほしいという気持ちが大切に、地域による学校支援をつなげてほしい。